

執筆者紹介

藤井俊博（本学助教授）

生井真理子（大谷女子短期大学非常勤講師）

呉艶（本学大学院博士課程後期課程）

真銅正宏（本学助教授）

加藤昌孝（同志社香里中高等学校教諭）

工藤陽子（同志社中学校嘱託講師）

編集後記

うち続く大企業の破綻や経済危機が社会不安を増大させる状況のなか、ともかくもまた新たな年が明けた。せめて日常の生活がつつがなきようにと祈らずにはいられない。

明けて早々の一月十日の新聞紙上には、天理市柳本の大和古墳群の黒塚古墳から三十面以上の鏡や二十本余の刀剣が発見されたという記事が躍った。暗澹たる出来事ばかりが目立つなかで、明るく、また知的興奮をかき立てるニュースであった。わけても多数の三角縁神獸鏡の発見は、邪馬台国論争に一段と拍車をかけるであろう。

さて、本号には、四篇の論文と翻刻・書評の各一篇を掲載する。こ

とができた。真銅氏の翻刻の続編は次号に掲載の予定である。

なお、本誌々上において、会員の著書について紹介・書評の形で採り上げてはという意見があり、これを実現させることとした。加藤氏にお寄せいただいた書評はその試みである。

右のことに関して、ご著書を刊行された場合は、国文学会宛（国文学研究室内）にご一報くださるよう、広く会員の皆様にお願ひ申しあげたい。

併せて、積極的に原稿をお寄せくださるようお願いしあげます。

（駒木 敏）

同志社国文学 第四十七号

一九九八年一月二五日 印刷

一九九八年一月三十日 発行

編集 藤井俊博
駒木敏

発行 同志社大学国文学会

(代表) 向井芳樹

京都市上京区今出川通烏丸東入

振替 〇一〇九〇一—二七三七

印刷所

共同印刷工業株式会社
京都市右京区西院久田町